

SSI 学会誌編集委員会 2019 年度第 1 回委員会議事録

日時：2019 年 6 月 1 日（土）10:00-11:15

場所：東京大学工学部（本郷キャンパス）2 号館 93B 教室

出席者（敬称略）：北村順生、櫻井成一朗、伊藤賢一、遠藤薫、小笠原盛浩、河島茂生、河又貴洋、記虎優子、小寺敦之、是永論、杉山あかし（skype）、野田哲夫、藤代裕之、松本早野香

欠席者（同）：天笠邦一、飯島賢志、上原伸元、小川明子、加藤尚吾、加藤由樹、河井延晃、金山智子、金相美、木村忠正、榊俊吾、佐久間勲、佐々木裕一、嶋崎真仁、高木聡一郎、高橋徹、土屋祐子、松下慶太、山本仁志、叶少瑜

【報告事項】

1. 学会誌発行状況について

和文誌

7 巻 2 号（2019 年 3 月 31 日発行済）

→ 論文 3（原著論文 2）、書評 2

7 巻 3 号（2019 年 6 月発行予定）校正中

→ 論文 5（原著論文 3 研究 2）、書評 1

8 巻 1 号（2019 年 6 月発行予定）校正中

→ 特集（ネオ・サイバネティクス）論文 4、論文 1（原著論文）

英文誌

Vol. 12（2019 年 9 月発行予定）5 月 7 日で投稿締め切り。

・投稿は、原著論文 1、翻訳 1 であると報告があった。

2. 査読状況について

6 月 1 日現在の査読状況を確認した。

・2018-12, 2018-16, 2018-17, 2018-18, 2018-25 は 7 巻 3 号掲載予定、2018-24 は 8 巻 1 号に掲載予定。

・2018-14, 2018-20, 2018-26, 2019-1～2019-10 は審査中であることを確認した。

・2017-7 は「研究」として B であったが、審査委員過失により掲載が大幅遅延していると報告があった。

3. その他

・同一の会員への査読依頼が重複してしまった事例の報告があった。委員長・副委員長と相談して査読者候補を決めており、なるべく調整しているが、ある程度の重複はやむを得ないことを確認した。

【審議事項】

1. 今後の編集担当について

和文誌『社会情報学』編集担当一覧

- 7巻1号（2018年12月発行済）：高橋徹委員
- 7巻2号（2019年3月発行済）：嶋崎真仁委員
- 7巻3号（2019年6月発行予定）：小川明子委員
- 8巻1号（2019年6月発行予定）：河島茂生委員
- 8巻2号（2019年12月発行予定）：叶少瑜委員
- 8巻3号（2020年3月発行予定）：是永論委員

- ・8巻2号を叶少瑜委員にお願いすることとした（後日、ご快諾いただいた）。
- ・8巻3号を是永論委員にお引き受けいただいた。

2. 特集企画について

- 4巻3号：特集「選挙」
- 5巻1号：特集「世論」
- 6巻3号：特集「ジェンダー」
- 8巻1号：特集「ネオ・サイバネティクス」担当：河島茂生委員

前回でたアイデアとして、

- ・計算社会科学
- ・フェイクニュース
- ・仮想通貨
- ・スポーツ報道

- ・「計算社会科学」を遠藤薫委員にお願いし、8巻2号（2019年12月）発行を目指すこととした。
- ・「フェイクニュース」を藤代裕之委員にお願いし、8巻3号（2020年3月）発行を目指すこととした。

※ 会議終了後、高木聡一郎委員に「仮想通貨」の検討を依頼した。

3. その他

- ・委員の任期は最長4年なので、野田哲夫委員、松本早野香委員と伊藤賢一委員は現在担当している論文の審査終了した時点で退任となることを確認した。
- ・塚原康博委員から多忙のため退任したいと申し出があった。
- ・「編集作業の流れメモ」を確認した。
- ・受付台帳（様式1）の提出がないことが多いので、忘れずに編集長・副編集長に提出

するように確認があった。

- ・マニュアルに書いてあることを問い合わせるケースもあるので、審査担当委員はこれをよく確認してほしいと注意喚起があった。

- ・英文誌への投稿を活発化するための方策について意見交換を行った。現在、発行に合わせて締切を設けているが、和文誌と同様に投稿を常時受付けることとした。